

## 総務省予算執行監視チーム第2回会議 議事概要

1 日時 平成22年2月12日（金）13:30～14:00

2 場所 総務省省議室

3 出席者

渡辺総務副大臣、内藤総務副大臣、長谷川総務大臣政務官、小川総務大臣政務官、  
階総務大臣政務官

福井大臣官房総括審議官（事務局長）、今林大臣官房会計課長（事務局次長）、  
熊埜御堂大臣官房政策評価広報課長（事務局次長）

黒田地域力創造グループ緑の分権改革推進室長、山内情報通信国際戦略局技術政策  
課研究推進室長、小笠原情報通信国際戦略局通信規格課長、安藤情報流通行政局情  
報流通振興課長、田中情報流通行政局放送技術課長、吉田情報流通行政局地上放送  
課長、奈良情報流通行政局地域通信振興課長、澤田情報流通行政局衛星・地域放送  
課地域放送推進室長、長塩総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課長、竹内総  
合通信基盤局電波部移動通信課長

4 議事

（1）両副大臣挨拶

（2）平成21年度第2次補正予算の執行状況等について

（3）平成22年度予算案に係る当面の執行監視について

5 議事概要

（1）両副大臣より挨拶

（渡辺副大臣）

○鳩山政権の3つの変革、コンクリートから人へ、政治主導の徹底、予算編成プ  
ロセスの透明化の実現のためにも、予算執行監視チームの役割は重大。

○地域主権改革、成長戦略など、政策目標の達成に向けて、予算の効果을把握し  
ていきたい。

（内藤副大臣）

○原口大臣のリーダーシップのもと、他省に先駆けて21年度第2次補正予算か

ら、監視チームの対象としたところ。

○第2次補正予算への取組をより良いものにしていき、本格的な来年度予算案の監視へつなげていきたい。

(2) 平成21年度第2次補正予算の執行状況について、担当課より説明

グリーン家電普及促進事業について、階大臣政務官より発言

(階大臣政務官)

○エコポイントの申請期限が延長されるが、申請受付事務については、当初、申請期限の4月末に事務が集中することを見込んで契約しているため、申請期限の延長に伴い、当初の期限のところの事務の集中は緩和されると見込まれるので、当初の期間の事務コストは圧縮する余地があると考えられる。

(内藤副大臣)

○事務コストについては、3省のうちの経済産業省と環境省ではあるが、当初の申請期限に見込まれた事務の繁忙がなくなるであろうということを踏まえて、契約の変更について経済産業省と環境省に投げかけていただきたい。

(主な意見)

○第2次補正予算については、経済対策検討チームの中で、PDCAサイクルをしっかりと回せとの指示があり、定性的な目標ではなく、定量化した目標、評価指標が必要。

○特に第2次補正予算の事業は、短期間の成果を得るべく作ったものであるため、少なくとも向こう1年、2年のこちらが期待する効果を数値的に出す必要があるのではないか。

○個々の指標はもちろんであるが、基本的な部分については、統一的な指標が必要ではないか。

○予算を消化しきれなかったから不適正であったということではなく、無駄な執行はできるだけ見直し、質のいい使い方をするという視点が必要。

(3) 平成22年度予算案に係る当面の執行監視について、内藤副大臣より説明

(内藤副大臣)

○平成22年度予算案のうち、特に、政務がしっかり奥深くチェックをしていく対象について、たたき台として、新規施策等の24事業をリストアップさせて

いただいた。

(主な意見)

○総務省が所管している公益法人や独立行政法人に対する補助金や交付金、委託費なども一部入っているが、対象としていくべきではないか。

(内藤副大臣)

○ご意見も踏まえ、政務のチェック対象が膨大になり、かえって監視が手薄になることのないよう配慮しながら、最終的な決定を行っていきたい。